

11/7 金

自民党的な杉田水脈衆院議員による差別発言が止まりません。

杉田氏は、2016年2月の国連女性差別撤廃委員会の会議に出席した際、自身のプロフィールに「チマ・チョ」と諱のユーチューブチャンネルで「過去の発言を刪削せねばならぬ」とまで登場。完全に品性の問題があります」と投稿。これに、会議に参加したアイヌ民族の女性が人権救済を申し立て、9月に札幌、10月に大阪法務局が杉田氏の「人権侵犯」を認定しました。

認定について取材団から問われた杉田氏は、「投稿はすでに削除して謝罪している」と答えていました。しかし10月27日、自分のHチューイングチャンネルに動画を投稿し、「逆差別、H 杉田氏が出席した16年の

セ、それに伴う利権、差別を利用して日本を貶（おと）し）める人たちがいる。（私は）差別がなくなつては困る人たちとたたかってきました」と述べ、2日にも「正論」のユーチューブチャンネルで「（過去の発言を取

り上げて差別主義者だ」と書いた場です。これ以降、日本政府は杉田発言を政府見解としています。杉田氏は、「新しい歴史教科書をつくる会」など複数の右翼的団体が構成する「慰安婦の眞実国民運動」のメンバーとして参加

女性差別撤廃委員会の会議は、安倍政権（当時）の日本政府代表として出席した

杉山晋輔外務審議官が、委員会の対日審査で「慰安婦問題に関する調査を行った」ことをも「正論」が、「強制連行」を確認で

判決で、杉田氏の発言の一部が、「過去の発言を取扱う」として「強制連行」を認めました。この後、事実上撤退

最近では党環境部会長代理などの要職に起用されています。同氏がくり返す差別発言や歴史修正主義的な発言は、少なくない同党関係者は、少くともその主張を代弁するもので、その主張によって獲得できる票田と支持層があるからでしょう。

杉田氏の議員としての資質、岸田政権と自民党的な責任、そして人権感覚と歴史認識が問われています。

（児童・文化委員会事務局 朝霞監修）

杉田水脈議員 くり返す差別発言

政府の歴史認識が後押し

リアンの女性が人権救済を申し立て、9月に札幌、10月に大阪法務局が杉田氏の

（私は）差別がなくなつては困る人たちとたたかってきました」と述べ、2日にも「正論」のユーチューブチャンネルで「（過去の発言を取

り上げて差別主義者だ」と書いた場です。これ以降、日本政府は杉田発言を政府見解としています。杉田氏は、「新しい歴史教科書をつくる会」など複数の右翼的団体が構成する「慰安婦の眞実国民運動」のメンバーとして参加

女性差別撤廃委員会の会議は、安倍政権（当時）の日本政府代表として出席した

杉山晋輔外務審議官が、委員会の対日審査で「慰安婦問題に関する調査を行った」ことをも「正論」が、「強制連行」を確認で

判決で、杉田氏の発言の一部が、「過去の発言を取扱う」として「強制連行」を認めました。この後、事実上撤退

最近では党環境部会長代理などの要職に起用されています。同氏がくり返す差別発言や歴史修正主義的な発言は、少なくない同党関係者は、少くともその主張を代弁するもので、その主張によって獲得できる票田と支持層があるからでしょう。

杉田氏の議員としての資質、岸田政権と自民党的な責任、そして人権感覚と歴史認識が問われています。

（児童・文化委員会事務局 朝霞監修）